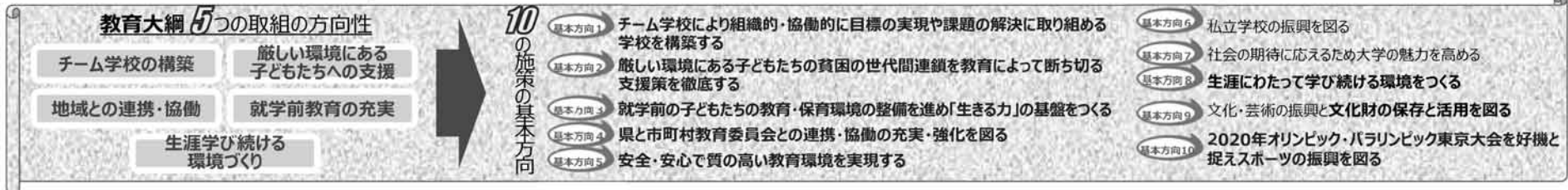


『教育等の振興に関する施策の大綱』及び『第2期教育振興基本計画』の推進



「チーム学校」の構築による知・徳・体のさらなる向上

教員同士がチームを組んで学び合う仕組みを構築するとともに、外部の専門家や地域の人材の力の活用も図る「チーム学校」を構築し、学校の目標の実現や課題の解決に向けた組織的な取組を推進

小・中学校

高等学校・特別支援学校

◆チーム学校の構築による学力向上 **知**

- 学力向上のための学校経営力向上支援事業 20,210千円
- 中学校組織力向上のための実践研究事業 8,242千円
- 算数・数学授業力向上事業 10,149千円
- 英語教育推進プロジェクト事業 26,551千円
- 探究的な授業づくりのための教育課程研究実践事業 26,699千円
- マネジメント力強化事業 38,686千円
- アクティブラーニングを活用した指導方法の改善 7,045千円
- 個々に応じた確かな学力育成研究事業（インターネットツールの活用） 17,234千円
- 遠隔教育の普及・推進研究事業 11,604千円

◆チーム学校による生徒指導上の諸問題の改善 **徳**

- 道徳教育改革プラン 15,468千円
- 高知夢いっぱいプロジェクト推進事業 8,473千円
- いじめ防止対策等総合推進事業 12,952千円
- 中途退学の防止 10,749千円
- キャリアアップ事業 47,693千円
- 21ハイスクールプラン推進費【再掲】 38,000千円  
※マシマシ力強化事業の内数

◆チーム学校による体力・運動能力の向上、健康的な生活習慣の定着 **体**

- こうち子ども体力向上支援事業 3,096千円
- 体育・健康アドバイザー支援事業 5,967千円
- 学校保健総合支援事業 1,018千円
- 運動部活動サポート事業 22,660千円
- こうち子ども体力向上支援事業 【再掲】
- 学校保健総合支援事業 【再掲】
- 運動部活動サポート事業【再掲】

厳しい環境にある子どもたちへの支援の充実

◆就学前の支援の充実

- 市町村へのコーディネーターの配置拡充 19,717千円
- 家庭支援推進保育士の配置 52,773千円
- スクールソーシャルワーカーの活用 8,424千円
- 親育ち支援推進事業 5,870千円

◆放課後等における学習の場の充実

- 放課後等における学習支援事業 201,344千円
- 放課後子ども総合プラン推進事業 563,706千円

◆地域全体で子どもを見守る体制づくり

- 学校支援地域本部等事業 67,664千円
- 多機能型保育支援事業 28,731千円
- 食育推進事業 2,196千円

◆専門人材、専門機関等との連携強化

- 教育相談体制充実費 431,090千円
- 心の教育センターの教育相談支援体制の充実・強化 52,123千円
- 若者の学びなおしと自立支援事業 49,373千円

厳しい環境にある子どもたちの貧困の世代間連鎖を教育によって断ち切ることを目指して、就学前から高等学校までの各段階に応じて切れ目のない対策を実施

就学前の子どもたちの教育・保育の充実

各園の組織マネジメント力の強化、保育者の資質・指導力の向上、保護者の子育て力の向上等を図り、どこにいても質の高い教育・保育を受けられる環境をつくる

- 幼児教育の推進体制構築事業 14,179千円
- 親育ち支援推進事業【再掲】

市町村教育委員会との連携・協働の充実・強化

教育大綱や基本計画の基本理念等の実現に向けて、県と市町村とが施策の基本方向等について方向性を合わせ、連携協働した取組を推進

- 教育版「地域アクションプラン」推進事業 159,901千円

「スポーツ推進プロジェクト実施計画」の推進

体育授業の改善、競技力向上への支援強化、地域の課題に即したスポーツ施策の推進など県全体のスポーツ振興を図る

- 体育・健康アドバイザー支援事業【再掲】
- 運動部活動強化校支援事業 13,551千円
- スポーツを通じたエリアネットワーク事業 8,334千円

学校等における南海トラフ地震対策

南海トラフ地震対策第3期行動計画に基づき、子どもたちの「命を守る」「命をつなぐ」対策を着実に推進

県立高等学校再編振興計画の推進

# 「チーム学校」の構築による知・徳・体のさらなる向上

## 本県におけるチーム学校の仕組み



地域との連携・協働

外部専門人材の活用

- 個々の教員の力量のみに頼らず、組織的に授業力の向上や生徒指導の充実などを図る
- 外部の専門家や地域の人材の力も活用

## チーム学校の必要性

- 日々の授業や生徒指導が個々の教員の力量に任せきり
- 学校の課題が多様化・複雑化する中で、教員の専門性だけでは対応に限界
- 教員の多忙化により児童生徒と向き合う時間の確保に支障

### 小・中学校

### 高等学校・特別支援学校



学校組織がチームとなって授業改善を行う仕組みを構築

#### 学校の組織力の強化

- 学力向上のための学校経営力向上支援事業 (20,210千円)
  - ・各小中学校で「学校経営計画」の作成
  - ・学校経営アドバイザー (7名) による学校への支援



#### 教員同士が学び合う仕組みの構築

学校規模に応じ、同一教科又は異なる教科の教員チームを形成

- 中学校組織力向上のための実践研究事業 (8,242千円)
  - ・主幹教諭の配置 ・教科の「タテ持ち」による実践研究
  - ・教科会の中心となるミドルリーダー育成 など
- 中山間地域小規模・複式教育研究指定事業 (4,249千円)
  - ・小規模校の教員同士の学び合いの推進

#### 児童生徒の学力定着状況の把握

- 高知県学力定着状況調査実施事業 (29,678千円)
- 全国学力・学習状況調査

#### 授業内容の充実

- 算数・数学授業力向上事業 (10,149千円)
- 英語教育推進プロジェクト事業 (26,551千円)
- 探究的な授業づくりのための教育課程研究実践事業 (26,699千円)

**H31目標** 小学校の学力は全国上位を維持し、さらに上位を目指す！ 中学校の学力を全国平均以上に引き上げ！

多様な生徒が共通して身に付けるべき力を確実に育成

#### 学校の組織力の強化

- マネジメント力強化事業 (38,686千円)
  - ・外部人材の活用 ・魅力ある学校づくりや資格取得の推進
- アクティブラーニングを活用した指導方法の改善 (7,045千円)

#### 多様な学力等への対応の強化

- 学力アップ事業 (68,438千円)
  - ・学力定着把握検査に基づく指導改善
  - ・個々に応じた確かな学力育成研究事業 (インターネットツールの活用)
  - ・学習支援員を活用した放課後等の補習の充実
- 遠隔教育の普及研究 (11,604千円)
- 特別支援学校の専門性・セクター的機能充実事業 (7,143千円)
- 特別支援学校技能検定 (1,609千円)

**H31目標** D3層の生徒の割合を15%以下に (H28高3 4月：29.1%)



学校がチームとなって生徒指導上の諸問題の改善を図る仕組みを構築

**H31目標** 生徒指導上の諸問題の状況を全国平均まで改善

#### 早期発見・早期対応

定期的な校内支援会の開催 学年団を中心とした見守り

外部専門家の知見を活用

- 教育相談体制充実費 (431,090千円) ※高等学校・特別支援学校分含む
- スクールカウンセラーの配置拡充
- スクールソーシャルワーカーの配置拡充

心の教育センター ・学校現場の支援力向上  
・緊急時の専門的助言

#### 未然防止

○いじめ防止対策等総合推進事業 (12,952千円)

- ストップいじめ！「高知家」児童会・生徒会サミット
- 親子で考えるネットマナーアップ事業
- 学校ネットパトロール事業

○高知夢いっぱいプロジェクト推進事業 (8,473千円)

- 開発的な生徒指導を組織的に推進
- 小中学校が共同して組織的に展開

○道徳教育改革プラン (15,468千円)

- 中途退学の防止 (10,749千円)
  - ・仲間づくり合宿
  - ・スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの配置拡充

- キャリアアップ事業 (47,693千円)
  - ・企業や学校見学、就業体験、海外留学などの体験活動



外部専門人材の力も活用しながら体力・運動能力を向上

#### 体育授業の改善

- 体育・健康アドバイザー支援事業 (5,967千円)

体育学習の課題解決と健康教育の充実に向けて、アドバイザーを派遣

#### 健康教育の充実

- 学校保健総合支援事業 (1,018千円)

現代的な健康課題の解決に向け、課題別対策の実施

#### 運動部活動の充実

- 運動部活動サポート事業 (22,660千円)

専門的指導やスポーツ医・科学面からのサポートができる運動部活動支援員を派遣  
教員の負担軽減による子どもと向き合う時間の確保

**H31目標**

小学校の体力・運動能力を全国上位に引き上げ！  
中学校の体力・運動能力を全国平均以上に引き上げ！

- ・将来の多様なスポーツライフにつながる体育授業の改善
- ・望ましい生活習慣の定着に向けた健康教育の充実
- ・生徒の能力・適性、興味・関心に応じた運動部活動の充実

- 学校保健総合支援事業【再掲】
- 運動部活動サポート事業【再掲】

# 厳しい環境にある子どもたちへの支援の全体像

教育委員会事務局

厳しい環境にある子どもたちの貧困の世代間連鎖を教育によって断ち切ることを目指して、就学前から高等学校までの各段階に応じて切れ目のない対策を実施



177